

「旭川市新庁舎建設基本構想（案）」に対して寄せられた御意見と旭川市の考え方

意見募集期間 平成 28 年 1 月 25 日（月）～平成 28 年 2 月 29 日（月）

意見提出者 19 件（個人 18 件，4 団体より 1 件）

※ 御意見につきましては，原文のとおりとしておりますが，一部読みやすくするために修正等を行っております。

No.	御意見	旭川市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・総合庁舎，第三庁舎において，建物の耐震性を表す Is 値（構造耐震指標）が 0.6 を下回る。 ・現在の庁舎は，民間賃貸ビルを含め 6 か所に分散し，市民サービスや事務効率が低下する。 ・待合スペースや相談スペース等の市民へのサービス提供空間が不足する。 ・執務空間において，書類等の適切な保管スペースの確保が困難な他，会議室が不足する。 ・総合庁舎や第三庁舎において建物，設備とも老朽化が著しく，今後の維持補修に多くの経費がかかる事が想定される。 ・災害物資の備蓄場所，非常用発電装置の不備とする。 ・無料の来庁者用駐車場において，平日のピーク時間帯に満車となる事が多い。 ・芸術や文化，物作りの街で有る旭川を内外に発信する機能を整備することで，市民は元寄り旭川を訪れる観光客も，旭川の魅力を知る事が出来る，市のシンボルとしての庁舎。 ・街作りの中心と成る庁舎は，今後の旭川市の将来に夢を託し，道北の拠点としての役割を担う様な「街作りの中心と成る庁舎」。 ・周辺の街作りと調和し，にぎわいの創出や回遊性を高める事が出来る等，街作りの中心としての役割を担う場所である。 ・災害時や復旧活動時等，防災拠点として機能する場所である。 ・官庁街としての歴史的なシンボル性を有している他，市民文化会館等の周辺公共施設との相乗効果に寄るにぎわい作りが期待出来る。 ・設計過程や発注後に市の意向や市民意見を反映し易いかどうか比較検討する。 ・地元企業の参入が可能かどうか比較検討する。（政令指定都市） ・旭川市役所本庁舎を 30 階建ての完成を目指す。 ・中央，北，東，白石，東光，豊岡，南，西，鷹栖，東川，東神楽，当麻，比布，永山，美瑛各区役所を 2～3 階建ての完成を目指す。 ・新しい旭川府庁ビル 15 階建ての完成を目指す。 	<p>御意見の内容につきましては，おおむね本基本構想（案）と同様の内容であり，参考とさせていただきます。</p>
2	<p>旭川新庁舎建設基本構想案意見</p> <p>●なぜ建て替えになったのか 校舎がせまく，係が分担して，市民使用を困らせ，年配者には，歩く危険，他の建物を借りる家賃このような建物なぜ作ったのか，第 1 次から第 7 次までの基本計画でどんな計画をして来たのかこのような事では旭川財政がどうなるのか。</p>	<p>外国都市の建物のように何百年も使え，観光都市の役割も果たすような庁舎としてほしいという御意見につきましては，新庁舎に市民はもとより，旭川を訪れる観光客などに，旭川市の魅力を広く発信する機能を付加することでまちの活力が向上するよう取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また，建物・設備の長寿命化を図り，維持管理がしやすい構造や材料を導入するなどライフサイクルコストの縮減を図りつつ，長く使える庁舎を目指してまいります。</p>

●駄目になる建物なぜ作ったのか

建物が震災に耐えることが出来ない、危険な建物、震災に耐える為には、建て替えにする事になる。

なぜこんな建物を作ったのか、当時の設計や、建物構造の審査などだれがおこなったのか、こんな使えなくなるものを、だれが許可をしたのか。他国の都市の建物は何百年も使ってるものが沢山ある日本の建築は、長く使えない物ばかりなのか。

●市役所は誰の為か

市民の使い安い役所でかなければならない事です、役所は一カ所に纏め全てその場所で、終わらせる事が一番と思う、役人の人達もお互いに便利と思う、財政負担も楽になる。今年から、第8次旭川総合計画基本計画という事ですので、今度はしっかりと考えてゆく事です。同じ失敗をしたなら係の人達は歴史に残ります。

旭川新庁舎建設場所構想案 平成28年1月市民広報にて

この度1月号の市民広報を見まして、ご意見をお寄せ下さいとの記事を見まして、意見を纏め提出致したく文書に致しました。よろしくお願ひ致します。

この度の、旭川新庁舎建設基本構想案ご意見をお寄せ下さいの事は大事な事でございます。

意見の内容は（新庁舎の機能や役割・規模建設場所に関する構造）との事でした。

今まで、旭川市の職員の方、また、都市の発展を考えている旭川市のお役人の方々が、私達市民の意見を、聞くことがなく、全ての事の計画を、進められて来たものと思っておりましたが、

この度、市民の声も聞くようになったのは、大変良い事と思うようになりました。私も旭川にすんで60年になりまして、この旭川が人口減少になって行く事を考えてどうしてこのようになって行くのか、仲間達にも聞くようにしています。

仲間達も、同じ事を思っていますが、これは、役所の方々が行って行くのなのでどうにもならないものだけの事です。

それなら、それでよいのですが、役所の方々に聞いても、発展は考えていますが、係がやることで分かりませんとのことでした。

このようなことで、ますます人口が減少になっています。そして今年には12年目に一度の、第8次旭川総合計画基本計画案と言うことで、市民の意見を寄せることになりましたね。私もすぐに、意見の提出する事に致しました。

なぜなら、人口減少になったのは、昭和30年頃には、旭川40万人の人口にする勢いで発展してきましたが、その頃から人口減少になり、どんどんと落ちてきました。

また市の財政も少なくなりこのままでは夕張のようになるなどと、仲間達が言うようになってきました。

その事などの話を聞いて、私はいまさらにもできませんが、未来の子供達が私達が亡くなった後にでも、旭川の発展を考えてほしい思い、300年後の旭川都と言う構想の、文書を沢山作り、仲間や、市議会議員さん、町内の方々に読んでいただくためにさし上げました。

その、第8次旭川総合計画基本計画案を市の係の方にも届けましたら。それを取り上げて下さいまして、旭川全市の、公民館や、地区センター、住民センター、オピッター、などで、沢山市民の方々に、意見結果の

新庁舎は1か所にまとめて市民に使いやすく考えるべきという御意見につきましては、現在は庁舎が分散化し、道路を挟んだ庁舎間を移動する必要があるなど、御不便をかけている状況ではありますが、新庁舎建設に当たっては、市民が利用する窓口機能などは最低限集約化を図り、庁舎を訪れた市民が円滑に目的の場所を探すことができ、分かりやすい、利用しやすい庁舎を目指して検討してまいります。

報告として、展示してありました。

その、資料は28年1月に全てなくなり、意見の効果が
出たものと思っております。その後も、いろいろの
今後の計画案の意見募集がありましたので、私は次の
事なども提出しています。

- 1・東光スポーツ公園の整備内容、
- 2・市民の企画提案による協働町作り事業・
- 3・文化芸術振興基本計画、
- 4・第2次旭川市緑の基本計画
- 5・旭川観光圏〃認定

これも、旭川発展の為に考えてのことです。

その後、今度は、旭川一番の、大仕事の、旭川新庁
舎建設基本構想案ご意見の作成にかかることにしまし
た。

これは、今後の旭川市民の一番の大きな、考えで、
今までの事を振りかえって行う事が大事と思うので
す。

今建て替えをするとのことですが、なぜ建て替えを
しなければならないのかも、考えて行かなければなら
ないのでしょうか。

建物が、狭くなり、建物が古くなり使うことが出来
なくなった。などなのですね。なぜ、そんなになるよ
うな、建物を作ったのでしょうか、他都市の建てもの
も、定期的に、建て替えをしているのでしょうか。

外国都市の建てものは、何百年、何千年も使えて、
観光都市の役割まで出来る建物が沢山ありますね。

私は、そのように、外国都市の建物のように、何百
年、何千年も使えるものにして行くことを望んでござ
います。

その事などを、考えて私なりの構想を意見として、
述べさせて頂きたいと思うのです。私の考えを、笑わ
れかもしれませんが、どのように思われましようが、意見と
して述べさせていただきます。どうぞよろしくお願い
致します。

この度も、私が旭川市役所に、3ヶ所に用事がありま
して、行きました。係の場所が分からないため、案内
の方に聞きました、ところが、これが大変な事なので
す。

この係は、この建物ではない、あの建物の7階です、
こちらは戻って来て、あちらの建物、この係は、まだ
遠くあちらです、とのことでした。

なぜこの用になるのですか。市役所はだれの為にあ
るのですか。私は80歳になります。この年寄りが、冬
の滑るのに、どうして道路を渡れるのですか。まったく
市民のための市役所でないと思うのです。

私はこんな市民のための市役所は駄目で、今度作る
ものは、全ての役所が1ヶ所になり、市民に使いやす
く考えるべきと思うのです。

そのような事を考えて、新庁舎構想を提出すること
にいたしました。内容は次の通りでございます。どう
ぞよろしく、お願いいたします。

旭川新庁舎建設案

何百年の観光建て物として使用
全ての役所統合・全ての商店統合
全ての医療統合・全地下の駐車場
全ての競技広場・世界観光客広場
世界お祭り広場・ドクターヘリ場

広場の公園、建物の地下は、3階の駐車場で、公園と
建物全部の土地を使用する。

いただきました旭川新庁舎建設案につきましては、
人口減少を見据え、観光客などが訪れたいくなるよう
な、「市民でにぎわい、親しまれるシビックセンター」
の実現に向けた夢のあるアイデアと受け止めており
ます。

新しい庁舎も長きにわたり旭川市のシンボルとし
て、親しまれるような庁舎としてまいりたいと考えて
おります。

<p>中心の、地下3階から、ガラス張りの10坪の建て物が。必要な時に浮かび上がり市長さんや、各お役所の方々のご挨拶や、訓示などの出来る事を考えました。使用のない時には、地下に下げて、回りの広場と同じにして、何も無い状況にしておきます。</p> <p>又地下駐車場は、旭川の町は、川の町である為、洪水などで、地下に水があふれた時などの事を考えて、人命に係わることを考えています。</p> <p>また、中心広場は、作業以外に、車の出入りは禁止としています。</p> <p>テロや、暴走族、無謀運転の事故などにそなえての事です。</p> <p>ドクターヘリは、旭川の許可の印のものに限るとして行きます。</p> <p>旭川中心部ロータリーより1キロ以内の場所 この度の旭川新庁舎建設基本構想（案）平成28年1月の資料の中に、建設場所が3ヶ所ありましたね。その中で買い物公園が一番よいのではないかと思います。</p> <p>これらを考え市民の為に利用しやすく考える事が大事と思うものです。</p> <p>こんな事を言うと出来る訳はないと言う方が沢山いると思います。</p> <p>札幌の大通公園を考えた方々も、反対の人達にもすごい事を言われ、何度も駄目になったそうです。</p> <p>それが、今は、北海道一の公園で、観光客の憩いの場として、発展しています。</p> <p>旭川市民も、反対者が現れても、日本一の庁舎を作る事を考えて進みませんか。</p> <p>よろしくお願ひ致します。</p> <p>このように、今度作る建物は、市民のための物、1ヶ所で用事が出来るもの、観光発展の建て物も考えて、沢山の観光客の楽しみ、憩いの建物にして頂きたいと思うのです。</p> <p>だから今度は、そんな市民が困るような、建物ではなく、全ての役所を同じ場所に作り人々が使いやすい建物にすることですよ。</p> <p>全ての役所が入れる大きさの土地がなければ、10階建て、20・30と上に高く、することです。</p> <p>他国の、建物は。高くても、何百年も使えるものを作っています。日本人も、今では世界に負けない程の、建築技術があり、他国に負けない建物を作る事が出来るはずですが、</p> <p>だからこそ、私は、今度は、しっかりと考えて作ってほしいのです。市民の意見を募集していますが、いままでも、沢山の意見の、第1次から第7次までの総合計画を、行なってきたのですが、それがまったくよくなりならず、人口減少や、市役所の建て替えなどをする事になってしまい、なんと考えたらよいのでしょうか。</p> <p>もっと、計画を実行するような、お役人の方々がいないのでしょうか。役人になっても、面倒なことは、せず、退職まで勤めたら自分はよいと思うことなのでしょう。そうでないと思うのであれば、役人の方々が、自分はこのように事を市民の為に行なったと言うことを、全ての市民に分かるように説明していただきたいと思うのです。</p> <p>だから、私は未来の子供達や、若者達に、未来の科学者を目指して旭川都の、発展の「夢構想300年後の旭川都」という文書を、第8次旭川市総合計画基本計画案に提出したのです。でもそれがどこまでお役人の</p>	<p>御提案いただいた、具体的な複数のアイデアにつきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>
--	--

人達は考えて行く人が現れるか、これからの考えをみて行く事しております、だからこそ、今度の新庁舎も、一度に出来なかったら、建て替えをしないで、段々と上に伸ばすことを考えて、これに耐用出来る用に、作って行くのが大事と思います。

私より沢山の建築士さん達が、いるのでしょから、よく聞きながら進めて行く事が大事では、ないでしょうか。

そんなことで、今日は市役所の不便さをよく考えさせられました。旭川市も、外国都市に負けないように、何百年、何千年も使えるもので、観光記念館のように、世界の人々が見学に来るような建物を作るのです。

旭川も外国の都市をまねて、建て変えるようなものでなく、観光都市になれるような、公社を作って頂きたいと思うのです。

こんな事を話しましたら、出来るわけではない、などと言われます。しかし、外国の建物は、壊すことのない、建物が沢山あります、それなのに、旭川の建物は、定期的に建て替えをしています。

利用しやすい、全ての公社・5万人広場・回りは商店街・ホテル街・観光客広場・観光客などのお祭り広場公園・全ての医療施設・ドクターヘリの施設・などなどの建物を旭川のどまん中に、作ることを望んでいます。

こんな話をしたら、どうせ、笑われると思っています。笑われてもよいのです。札幌の大通公園を考えた方も、沢山の反対者が、いたそうですが、今は北海道一の大通になり札幌の発展のシンボルになっていますね、それを考えると、私の話も笑われてもよいのです。出来なければ作らなくてもよいのです。私だけの考えを話ただけのものでございますので、笑ってください。

旭川都市計画も、外国都市の建物、広場、観光公園、国の発展、宝の観光建物などを考えて進んでほしいものですね。

私達は今回の、東光スポーツ公園の複合施設の計画が今後どのように計画されていくのか、大変期待をしております。

その計画は、旭川全市民が望んでいるものと思うのです。私達も、健康ダンスの方達650人の仲間が期待しております。

どうぞ決まりましたら、計画の資料をお願い致します。資料ができましたら、私の方から頂きにまいりますので、市民広報などでお知らせくださいませ。

先に申しました、私の、夢旭川300年後の都のような、話がなにか今度の、東光スポーツ公園の複合体育施設の計画も、きっと北海道一、日本一の、公園になれる、ような気持ちで楽しみにしております。

どうせ作るなら、一度に作る事が、予算などで出来ないこととなりますので、予算が出来た時に、作れるように考えて進んで行きましょうでは、ございませんか。

夢構想・東光スポーツ公園の複合体育施設の計画・と私達は期待しております。係の方は、このような、素晴らしい施設の計画は、大変な仕事でしょうが、頑張ってください。

それでは私の庁舎の考え方の図意見です

これは市民の為に、市の庁舎として、北海道一の建物として建ててほしいとの願いです、前期に話したように、何時までも使い安い建物で、市民の人々が使いやすい、全ての役所の場となり、観光都市に会うよう

な建物にして頂きたくお願い致します。

第一構想は丸型建物

第二構想は角型構想

どちらも観光客を呼べる用に考えました

世界の国も、発展して行く都市は観光からではないでしょうか。

旭川もこの観光を忘れずに行ってほしいのです。

今回の意見の要望が沢山ありましたが、観光に関係のあるご意見はまったくありませんね。どうしてなのでしょう。

観光なしでは、絶対に発展にはならないと思います。

北海道経済の2月号の、66ページに、旭川観光園〃認定とありました。これがどこまで進められますものか、今後の見処と思います。

私は、沢山の要望を考えていますが、要望の意見を提出しても、考えにならない時には、今後要望を提出しません。

少しでも要望に進んでいる事がない時は、旭川をあきらめる事にします。

この意見の事も、旭川にこんな人間がいたのかと仲間達は子供達に伝えて行くことでしょう。

そのような事で、わたしの建物と、その為の使いやすい建物の、案を述べました。

よろしくお願い致します。

これ以上よい方法で市民が満足する建物が出来るとの計画がありましたらお知らせ下さい。期待しております

旭川新庁舎建物構想案（図は省略させていただいております。）

観光庁舎 第一構想案 旭川都

北海道一の観光庁舎 発展は観光第一です

観光第一で考えなければ発展はゼロです

旭川市民よ 観光第一で発展させよう

世界の国で、発展していくのは、観光です

日本も大都市は観光客で発展して来ている

旭川が人口減少になっている発展は観光

旭川新庁舎建物構想案（図は省略させていただいております。）

第一構想案 テレビ灯を作る

土地最大に活用するため10階建て以上

20階に、全ての役所が入れる事を望む

建物屋上に旭川大雪山や盆地の景色を眺める展望だい

作る建物の場所土地を最大に活用する為20階建てとし

て上を利用するテレビ灯を作るのです

観光客の皆さんが旭川盆地の眺めを楽しく見てくれています

人口を増やして発展させるには観光なしでは行きません

観光都市を目指し旭川市内の大公園常盤公園の観光客憩いの公園として活躍して行く事を考えて頂きたいと思ひます。

まったく観光客の方々がいません。何時でも人の姿はパラパラです。

もっともっと使用出来る事を考えて沢山の観光客様の公園に頂きたいと思ひています

7条通り公園はどのように使われていますか、ここも何時も誰もいませんなぜ使用者が以内のしか人々の憩いの公園にはなりませんね毎日子供達のイベント広場

などで市民を楽しませる事ですね

旭川新庁舎建物構想案（図は省略させていただきます。）

観光庁舎 第二構想案 旭川都
北海道一の観光庁舎発展は観光第一です
観光第一で考えなければ発展はゼロです
旭川市民よ観光第一で発展させよう
世界の国で発展して行くのは観光です
日本も大都市は観光客で発展して来ている
旭川が人口減少になっている発展は観光
旭川市民の皆様観光都市にしなければ人口減少になります
未来の子供達若者達君たちの力で観光都市都旭川を作
ってね
頼むよ未来の青年達よ

旭川新庁舎建物構想案（図は省略させていただきます。）

第二構想案 テレビ灯を作る
土地最大に活用するため10階建て以上
20階に全ての役所が入れる事を望む
観光客を楽しませるテレビ灯です、大雪山やフラワ
畑を眺められます
雪の山大雪山の白の色、見渡す限りの白い綿
観光客の為の楽しむ場所 屋上テレビ灯展望台
モノレールの汽車のにぎやかさ。一度乗りたや、観光
客

いきいき町作りなどの意見考え沢山の方々よりあり
ますが、どのように
進めるべきとの案がありません、このように進めると
よくなると言う事を考えて意見に述べて頂きたいと思
うのです、よろしくお願い致します。
人にやさしい庁舎とは、役所が、分担せず、一カ所に
まとまり、市民が迷わず用事を住ませられる、ように、
する事がよいと思います
年配の方々が多くなる時代です
もっと人々の健康や、苦勞の悩みのないよう考えて下
さい

建物内容説明

この度公民館でご意見資料の案を見ました。その中で
次の案がありました

旭川新庁舎建物構想（案）平成28年（2016年）0月
旭川市という資料を見ました、素晴らしい構想の資料
でございます。

この資料を見まして、私達市民は、何も考えなくても
よいと思いました。

このように、行政の方々が立派な、庁舎を考えてお
りますのに、市民
の意見はなくてもよいと思いました。

この資料を全て見て考えましたが、納得行くまで、一
月もかかりました。仲間達といろいろ話しながら、
ようやく納得出来ました。

どうぞ、この資料にあるように立派な建物を作って
下さい。よろしくお願い致します。

私はこの資料を見る以前に案を作って届けようと思
っていましたもの
がありますので、私なりの考えの物ですが見てくださ
いませ。

なんの役にもたないものと思いますが、行政の方々

にはご迷惑ですが、私なりの考えでしたので、お許しくださいませ。

第一構想案

これは丸型の建物にしまして、中庭公園としました。
観光都市にする
為です。

全ての役所が一カ所に纏まり市民の使いやすい事を
考えました。

回りの通りには、全ての店、ホテルなどを作り、観
光客を楽しませる
事を考えました。

建物を20階建てにして、旭川盆地の眺めを観光客に
見て頂くように
テレビ灯を作るように考えました。

旭川発展の為観光客が沢山来てこの公園を札幌大通
公園のように、憩
いの公園として楽しむように考えました。

第二構想案

これは、大きな公園の中に建物を作り角型にしまし
た。

大きさは、丸型と同じく、全ての役所が入る建物、
20階とし、テレビ灯も作ります。

公園の遊び場や、商店ホテルなどもおういに観光客
の為に楽しんで頂き、旭川発展になるように考えまし
た。

このような意見ではございますので見てください。
見た後は捨てて下さい、やくにたたない意見で申し訳
ございませんでした。

旭川市構想案のような、立派な庁舎よろしくお願
い致します

以上でございます、これが私の考えでございます。

大変失礼な事を意見にしましたが、不便な事と、旭
川発展都市を考えたのでございます。

なんとか私が生きている間に完成してほしいと思っ
ております。

このような意見を、述べましたが、前にお話しまし
た、基本構想案の中身を何度も見ましたが、今度は、
立派な庁舎が出来てゆくように思われました。

その為私の構想はなんの役にもたたない事が分か
りました。

このような基本計画を纏めるのには、大変なご苦労
があったことで、ございましょう。

私達はこの立派な計画はとても良いものと思っ
ております。

その為に必ずこのように進めて頂きたいと思っ
ております。

今までもこのように、立派な構想を第1次から7次
まで、行なって来たとおもいます。

それがうまく行かなく現在のように人口減少にな
り、過疎になってしまいました。

その為今度こそは、必ず実行してほしいと思っ
ております。

どんな立派な構想計画を考えても実行をしなければ
どうしてなのかと思われまます。

そのような事のないように、計画を進めて頂きたい
のでございます。

この度の計画案の資料は旭川市民の方々が沢山見て

	<p>いるとおもいます。</p> <p>その人達も私と同じく、こんどこそは、計画の通り進んでほしいと思っているに、違いありません。</p> <p>このような、立派な構想基本計画ですので、旭川市民を裏切るような事のないように、必ず、市民が安心してよかったと思えるものにして頂きたいと思うのです。</p> <p>そうでなければ、また裏切りになり旭川を捨てて、若者達が、他都市に出て行くことになります。</p> <p>そのような事になりましたら、この計画案を作った方々が、どんな事になるだろう。</p> <p>あの人が、この人が、などといわれますね。</p> <p>そのような事のないように、よく考えて進んで下さいませ。</p> <p>かってな事ばかり申しまして、誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>これにて、意見の言葉といたします 大変失礼いたしました。</p> <p>旭川市民の皆様、いよいよ始まる新庁舎、皆さんも、沢山の意見を出して、良い新庁舎を作って、頂きましようね。</p> <p>発展ない、旭川には、若者達が、いなくなる、生活が出来ない為</p> <p>発展出来る事を、考えて、進んで頂きます。</p> <p>よい計画を作りましたら、必ず、実行をして進んでください・</p> <p>言葉や、計画をたてても、実行をしなければなんにもなりません</p> <p>言葉に出したら、必ず実行をすることです。それが言うだけの物になっています。</p> <p>言うだけの計画なら、やめた方がよいと思います。</p> <p>何時までも過疎になるような旭川ではなく、発展第一に考えて進んで頂きたいと思うのです。</p> <p>北海道ど真ん中都 皆で作ろう新庁舎 旭川市世界に届け 観光都市目指そう 世界の発展は観光から 観光なしは過疎になる 山に囲まれ緑の楽園 災害ない住よい旭川 旭川で楽しく暮らそう 皆おいで</p>	
3	<p>場所：買物公園 超高層ビルを建設し、上層階をマンションにする</p> <hr/> <p>現在地周辺で決まるのでしょうか、1つだけ実現してほしいことがあります。身障者用と歩行困難者用駐車場の設置です。</p>	<p>新庁舎の建設場所は、これまでに実施してきました市民アンケートや意見交換会、審議会、議会の議論など様々な場でも出された意見を踏まえながら、アクセシビリティ、歴史的シンボル性などを客観的に評価した結果、現庁舎周辺エリアを建替え場所としたところですが、新庁舎の配置計画につきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p> <hr/> <p>来庁者用駐車場につきましては、十分な台数確保のほか、障害者や高齢者、子ども連れの来庁者が利用しやすい便利な形にしたいと考えており、いただいた御</p>

	<p>国土交通省 ダブルスペース</p> <p>必要なスペースを確保し、障害者や高齢者等の間でも使いやすくする工夫として、『車いす使用者のための幅の広い駐車スペース』にプラスして軽度障害者や高齢者用に『通常の幅で施設出入口に近い駐車スペース』を設ける『ダブルスペース』の導入を検討することが有効です。</p> <p>(添付アドレスは省略させていただいております。)</p> <p>幅の広い身障者駐車場だけでは、健常者の違反駐車が増え、幅の広い車いす専用駐車場と、普通サイズの歩行困難者用駐車場を設置すれば、少なくとも車いす用駐車場の違反利用は人目で分かります。注意しやすくなりますし、違反利用は減ると思います。コストはほとんどかかりません。是非実現するようお願いいたします。</p>	<p>提案につきましては、今後の駐車場の配置計画を検討する上で参考とさせていただきます。</p>
4	<p>基本構想(案)について概ね理解できます。</p> <p>唯、人口ビジョンでは減少推計されていますし、更に日本創生会議の公表の資料では消滅可能性都市の一つに旭川市が挙げられている。従い庁舎には必要な面積の算出基礎になると思います。それを公表して意見を求めるべきでないだろうか。</p> <hr/> <p>噂ですが確認ありませんが、旭川商工会議所が庁舎エリアに含まれているとの事、事実であればその組織の「エゴ」圧力でないですか。</p> <p>会議所は経済団体で農業協同組合と一緒にです。「何故」説明を求めます。</p>	<p>必要面積算定の基礎である想定職員数につきましては、行財政改革や人口減少による業務量の減少が見込まれる一方で、少子高齢化による新たな行政需要の増加や地方分権改革による権限や業務の委譲などによる業務量の増加も見込まれ、今後の職員数については減少が想定されるものの、大幅な減少にまでは至らないと思われることから、当面は平成30年度の推計職員数のまま推移すると想定したところですが、新庁舎建設に当たりましては、将来の人口減少を見据えた取組を行ってまいります。</p> <p>また、これからも庁舎整備検討審議会での審議のほか、ワークショップ、各種団体との意見交換会などを通じ、様々な市民の皆様の御意見を伺いながら、新庁舎の規模を精査してまいります。</p> <hr/> <p>新庁舎建設に当たりましては、単に行政窓口を集約するだけでなく、公的な役割を担う民間窓口と行政窓口が連携することで市民の利便性が向上することが期待できるものとして、旭川市社会福祉協議会や旭川商工会議所を民間窓口機能として新庁舎の必要面積に算定したところです。</p> <p>民間窓口機能につきましては、いただいた御意見を踏まえ、適切な費用負担を含め引き続き検討してまいります。</p>
5	<p>私は生まれて61年旭川に住んでいる聴覚障害の市民です。旭川市新庁舎は旭川市のラウンドマーク的建物で、旭山動物園の観光客減少を補うべき建物にした方が良いのではないのでしょうか、又通勤族の方が書類を提出したく庁舎に来た場合大変分かりづらいと言っていました、総合庁舎と言いつつも分散しすぎるとのことです。私としては高層庁舎がいかがかと思います、低層階部は役所が使い中層階部はマンションなどの入居スペースとし高層階部はホテルなどに使用して最上階はレストランや旭川の川を中心にした景色や大雪山連邦を見ながら食事出来る展望ルームなどを考えてみてはいかがでしょうか。私事ですが昨年横浜のラウンドマークタワーに登り大変感動してきました。観光客も大勢いて是非旭川にも見せたい景色がたくさんあると思いますので是非案の一つに加えていただければ</p>	<p>今回御提案いただきました新庁舎の配置計画につきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>

	幸いです。	
6	<p>税収も人口も減っているのに、返せないほどの借金をどうやって払うつもりですか。これから水道や橋等のインフラ整備にお金がかかるんですよ。</p> <p>庁舎が立派になっても、夜や冬に災害が起きた場合、役に立たないのではありませんか。</p>	<p>庁舎建設に係る事業費の返済計画につきましては、今後基本計画策定の中で示してまいりたいと考えております。庁舎建設に当たっては、多くの費用を必要とする事業でありますことから、今後の社会情勢や工事費の動向を見据え、事業費の縮減方策や、新たな財源の確保について引き続き検討し、将来への負担を減らすよう努めてまいります。</p>
7	<p>(風通しの良い、開けたフロアになる) 大型のショッピングセンターみたいに、ワンフロアにする。</p> <p>4階建てぐらいにし、エコ庁舎、屋上に太陽光など設置する。</p>	<p>新庁舎の具体的機能や配置計画につきましては今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>
	<p>半分の費用ですませる。</p> <p>庁舎付近の再開発。</p>	<p>事業費や事業手法の御意見につきましては、今後の社会情勢や工事費の動向を見据えた事業費の縮減方策や、新たな財源の確保について引き続き検討し、将来への負担を減らすよう努めてまいります。</p>
	<p>旧庁舎は解体すべき。費用がかかる。</p>	<p>現総合庁舎につきましては、専門の見地から歴史的・文化的価値を有する建築物として保存を求める御意見があり、そうした価値を踏まえた上で、保存する場合の費用などを比較検討し、市民意見をお聞きしながら、その取り扱いについて総合的に判断してまいります。</p>
8	<p>1. 市庁舎の現状と課題について</p> <p>耐震性能の再検証が必要と思えます。性能不足は否めませんが、市の文化的な資産存続の可能性を探り、行政機能の全てではなくとも、可能な範囲で利活用を検討して欲しいと思えます。解体ありきの新庁舎計画には反対です。</p> <p>また設備や仕上げの老朽化と、躯体の劣化は別物です。耐震性能や老朽化について偏った認識を浸透させないよう、表現の配慮が欲しいと思いました。</p>	<p>現総合庁舎につきましては、専門の見地から歴史的・文化的価値を有する建築物として保存を求める御意見があり、そうした価値を踏まえた上で、保存する場合の費用などを比較検討し、市民意見をお聞きしながら、その取り扱いについて総合的に判断してまいります。</p> <p>また、御意見にありました設備の老朽化と躯体の劣化に関する表現について、誤解を招かないよう、表現を見直したいと考えております。</p>
	<p>2. 新庁舎の基本理念について、</p> <p>3. 新市庁舎に求められる役割及び方針について</p> <p>現庁舎周辺を一体的にシビックセンターとして整備する事については賛成ですが、日常的に市民が求めるサービスのおおよそは支所で足りています。新市庁舎でなければ果たせない役割を__たとえば国際社会の中にあって、ゲストを迎えるにふさわしい場の創出なども重要と考えます。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後、取組を進める上で参考とさせていただきます。</p>
	<p>4. 新庁舎の必要面積について</p> <p>平成39年の人口、職員数、議員数の想定を元に算出されていると説明会でお聞きしましたが、それは竣工後5年先の人口を元に推計されている事になります。</p> <p>次世代や更にその次の世代に引き継ぐ市庁舎建築の展望としては、もう少し先の見通しが必要ではないで</p>	<p>新庁舎建設に当たりましては、単に行政窓口を集約するだけでなく、公的な役割を担う民間窓口と行政窓口が連携することで市民の利便性が向上することが期待できるものとして、旭川市社会福祉協議会や旭川商工会議所を民間窓口機能として新庁舎の必要面積に算定したところです。</p>

	<p>しょうか？ また、商工会議所や社会福祉協議会の入所面積も含まれているとの情報もありますが非常に違和感があります。</p> <hr/> <p>5. 新庁舎の建設場所について 現庁舎存続の検討も含め文化会館や第三庁舎、駐車場等々を含めた、エリア一体の構想を求めます。その結果が新しい庁舎の必要面積、場所、費用、工期等全てを決定すると思います。新築にしてもリノベーションにしても、設計者の選定に際しては広く案を求めるコンペティションが望ましいと思います。 新しい風景になる建築のデザインは慎重になされるべきだと思います。 市民の誇りとなる市庁舎を期待しています。</p>	<p>民間窓口機能につきましては、いただいた御意見を踏まえ、適切な費用負担を含め引き続き検討してまいりたいと考えております。</p> <hr/> <p>今後、基本計画の策定に当たっては、現庁舎周辺エリア全体の整備計画は重要であると認識しており、市民文化会館との役割分担などと合わせて検討してまいります。 また、事業者、設計者の選定方法やデザインのあり方につきましては、御意見の主旨を踏まえながら、基本計画の策定の中で検討してまいります。</p>
<p>9</p>	<p>神楽公民館新庁舎の説明会 平成 28 年 2 月 21 日に、午後 2 時より神楽公民館で、新庁舎の説明がありました。 16 名でした。男 13 名、女 3 名でした 1 時にスタートしました、すると男の人が突然今日の説明会は、1 時間の短い時間で駄目だ、もっと長い時間は取れないのか、と大声で話しました。 市の方は、遅くなっても、意見のある時は続けるとのことで始まりました。 ●意見は次の事などでした● 新庁舎の場所では、今の場所でなく、永山など離れた場所で大きな土地に建てる事などと言う人がいました。 ・社会福祉、会議所の話 ・最後の決定は誰が行うのか ・他都市の運営を参考に旭川、シンボル庁舎目指す ・高さは 3・4・階でよい ・風通しのよい 1 階フローでよい ・解体せず、保存するのはどうか ・耐震を考えて行く事 市民の考え 100 人 100 色である 市民の話をもっと多く聞くことである ・市長が良い物を作ると言っていた事などはどうしたのか ・財源がなく借金をした時は誰が返して行くのか、市民から税金として取るのか ・市のシンボルのような庁舎にするなどなどがありました ・シビングセンターとはどんなものか 市民の為のセンターと言う事です まだ沢山の意見がありました、よい庁舎の具体的な話はありませんでした。 私も話たい事は沢山ありましたが、時間がない為何も話さず帰ることにしました。 このような意見説明意見を聞くような事でよいのでしょうか。 私は、今日の会合は庁舎建設に対する説明と意見交換であるが、庁舎建設に関係のある意見はあまりなく思いました。 私は 28 年 1 月 29 日に新庁舎の意見を市に提出したものです。 今日の説明会、意見交換で感じたことを述べさせて</p>	<p>市民説明会に御参加いただきありがとうございました。</p> <p>この度の意見提出手続きに当たり、市民の皆様旭川市新庁舎建設基本構想(案)についての内容を分かりやすくお伝えするための説明会を 2 回開催いたしました。第 2 回の 2 月 21 日は、意見交換の時間を取れないかという御意見もございましたので、柔軟に対応させていただきましたが、物足りなかったという御意見につきましては真摯に受け止め、今後、市民の御意見をお聞きする際の進め方などを工夫し、より分かりやすいものとなるよう検討してまいります。 また、人口減少を踏まえ、何百年も使える旭川発展になるような建物にしてほしいという御意見につきましては、建物・設備の長寿命化を図り、維持管理がしやすい構造や材料を導入するなどライフサイクルコストの縮減を図りつつ、長く使える庁舎を目指してまいります。</p>

戴きます。

一番大事な事で、今日の説明会はよかったのでしょうか。

初めに意見の前に話した人のように、時間が足りないと言う事でしたが。今日は時間が十分にありましたでしょうか。

まずこれから考えて行きたいとおもいます、市の行政、市の担当者は、何を行なってもよかったと思うような、事で進んで行く事が大事と思うのです。私は今日は何のたりなかったと思いました。

私はこの度、6ヶ所の説明会や、意見交換会に行きましたが、どこも今日と同じでなにも話さず帰りました。

みれはいつも、時間がない為、後日、文書にして届けることにしています。

その為私は、いつも、会合の後で、意見は文書にいたしまして、6ヶ所に提出しております。

また市の意見提出の用紙は、一枚の用紙で話たい事は、書き切れません、だから自分で文書にして届けるのです。

また話などで意見を聞いても、後で何を話したか、忘れます。文書は、後で何度も見て思い出しながら考えるものでやくにたつものと思うのです。

また市の担当者の方々も、準備時間なく、文書を送って戴く事で、すべての経費や時間の無駄にならない事と思います。

私の話が間違っていますか。間違っているもなら、いままでどうりに進めて行きなさい

今日の意見も沢山ありましたね。それに答えて市の担当者のかたも、説明していましたねところが意見も説明も、私には分かりませんでした。

意見では、なにをどうするのか、どうしたら市の資料のようになれるのか、などの具体的な意見は、まったくありませんでした。

また市の担当者の方も、意見にたいしても説明に対しても、まったく、このようにして作る事です、このようになるのでよくなると言う具体的な話はまったくありませんでしたね。

これなら、いつまでたっても、旭川市はよくなりませんですね。私は今年沢山の意見をこれからも提出して行く事にしています。その後意見が取り上げられて、よい方法に進んでいきましたら、担当者の方々にお礼を申し上げることにしております。

そのように市の担当者の方々が、よくなる事を行なわなければ、私は二度と意見を提出する事はいたしません。

このように考えている市民は、私だけではないと思います。

だから、今度こそはしっかりした方法で進んでほしいのです。

そのような事で今日の説明会に行きました私の考えを文書にして届けることにいたしました。

いやなものと思うのでしたら、見ないですて下さい。

●私はこのように考えました●

なぜ今になって立て替えをしなければならなくなったのか、

それは、資料を見て分かります それでは資料にあるように、そんな駄目になる建てものをどうして作ったのか。

建てものは、何百年も、何千年も、使えるものです

よ。

日本のお城だって、お寺だって、外国の国際遺産だって 何百年も、何千年も、使われていますよ、それが旭川の市役所は、50年ほどですよ、作る時になぜこんなだめになるような物を作ったのか、その当時の担当者はだれなのか。

また市民に喜ばれる物をなぜ作らなかったのか、せまくなり、何か所も離れた場所に、かりて仕事をしなければならぬ物を、何故作ったのか、

資料にある通り。あれも駄目になった、これも駄目になった、などとの説明がありますが、そんな建物をなぜ作ったのか、だれが悪いのか。

今さらそんな事を話しても、無駄でしょうが、まったく今までの担当者は困ったものですね。

そんな事を話しても今ではどうにもなりません、今度はそんな事のないようにしっかり考えて進む事にして戴きたいと思う次第です、だからこそ、もっともっと、大事な事の見解があってほしいと思うのです。

前に話したように今度こそは、駄目にならないような、立派な建物、市民がよく出来たと言う建物、旭川発展になるような建物、それらを考えて戴きたいのでございます。作ってもすぐ駄目にならないように、いつまでも使える、何百年も、何千年も、使える建物、作って戴きたいのです。

また旭川市は、人口減少、過疎になっていますね、27年度の議会意見交換会で、10年後は12万人減ると言われていますね。

そのようになって行くことなども考えているのでしょうか。

過疎になってゆく事のないような庁舎を作る事も考えていねのでしょうか。

いくらよいものを作っても、人口減少、過疎になって行くのでは同じことですよ。

それらのないようにして行くのはどのように考えているのでしょうか。

それを考えなければ、いくら立派な庁舎を作っても、今と同じで、取りこわす事になるのではないのでしょうか。

私の考えが間違っていますか、間違いなのでしたら、正しい事を教えてくださいませ。私も勉強をして行きますのでお願い致します

だから私は、未来の旭川発展の300年後の構想を、平成元年に作り、沢山の議会議員さん達に、読んで戴きましたが、まったくとり上げるような事はありませんでしたよ。

それでも、今度の、第8次計画に、私はだめでもよいと思い、昨年の12月に市に提出しました。

その結果の資料が12月9日に出来たと言う事で私のところに、送られて参りました。

ところが、この時の意見提出しました旭川市民は、わずか8人でした。

なぜこのような大事な意見が少なかったのか。私は残念でした。私の意見は担当者の方々が考えて進む事としていますとの事でした

私はこれから沢山の旭川構想の意見がありますが、まず、旭川発展にならない構想は考える事はないと思うものです。

だから私が考えた未来の、夢構想300年後の旭川都と言うような、夢物語の事が大事と思うのです。

とんでもない夢でずか、それが科学と言うものでは

ないでしょうか。

と言うことで、今日の考えは次のように思いました。
これらを考えなければ、過疎になり、現在の夕張のよになってしまいます。

夕張は、過疎になって今年で10年だそうです、旭川もこのままでは、北海道第3に落ちてしまいますよ、だから次の事をしっかり考えて進んでほしいと思うのです。

- ・旭川発展第一の庁舎であること
- ・過疎にならない人口増進目指せる庁舎
- ・全ての役所が一カ所に集合する庁舎
- ・観光客などが庁舎回りを憩い公園とする
- ・今の場所でよいが。未来にかけて、土地の大きさがたりない

文化会館、旭川警察の場所、東高等学校、まで買い取る計画をする事とです。

無理のようでしょうが、それくらいの構想をもって進くことではないでしょうか、一度に出来ない事で、ありますが未来の構想にはとり入れて行くことが大事と思うのです

市の財政が出来た時に予定をする事がよいのでは、ないでしょうか。

- ・庁舎の建物は、土地を多く使わず建物を、高くして、土地有効に使う事を考える事がよいと思います
- ・車時代になりますので、土地の地下全てを地下3階の駐車場にする事もよいと思います。また庁舎の職員も駐車場代を払って使用するようして戴きたいと思うのです 全て市民が平等でなければなりません
- ・シンボルなどは財政の事であまり考えないようにする、財政の問題

まだまだ考える事が沢山あると思いますが気が着いた時に追加することに致しました。

このような考えで進まないことには、夕張のようになりますよ。

私達は、長いことがあります、未来の子供達や、若者達の為にも、先輩達が良い物を残してくれたと、思われるような、歴史を残しておくように致しましょうではございませんか。

若者達に、先輩方がなにもよい物を残してくれなかった、などと言われないように、しっかりと考えておきましょうではございませんか。

私も。歴史に残すために、今年から、出来上がって行く、全ての意見構想のあり方を、ビデオに納めて残すことにして、今年の雪祭りから、保存しています。

どうか旭川市の行政の方や、新庁舎のお役人の方々も、歴史にのこるビデオなども作り未来の若者達に残して上げる事も考えて進みましょうではございませんか。

また今年から、全ての、意見交換や、意見提出した記録も、未来の若者達に参考資料として残しておきましょうではございませんか

このように私は考えていますので、なにかの時に、思いだして見てはいかがなものでしょうか。

いろいろ、嫌な事も言いましたが。役にたたないものでございましたら、すてて下さい

これからも私のような者で、よければ、もっと沢山の意見交換や。意見提出をさせていただきます。

長々と話しましたが、これにて今度の私の考えをお伝え致します。

	<p>本日の説明会、誠にありがとうございました。これにて失礼させていただきます。</p>	
10	<p>◎新庁舎内に商工会議所を設置するのに反対する。 理由・・・商工会議所は市内商店等の上部組織 商工会議所は行政への圧力団体になる組織だと思ふ。</p>	<p>新庁舎建設に当たりましては、単に行政窓口を集約するだけではなく、公的な役割を担う民間窓口と行政窓口が連携することで市民の利便性が向上することが期待できるものとして、旭川市社会福祉協議会や旭川商工会議所を民間窓口機能として新庁舎の必要面積に算定したところです。</p> <p>民間窓口機能につきましては、いただいた御意見を踏まえ、適切な費用負担を含め引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>
11	<p>「旭川市新庁舎建設基本構想(案)」(以下、「案」とします。)に基づき、以下の点について意見を述べます。</p> <p>1. 「案」18頁、「第6章事業手法、■事業手法の比較」について</p> <p>事業手法については、直接建設方式のうち従来方式の採用をお願い申し上げます。</p> <p>平成27年10月4日イオンモール旭川駅前で、「旭川市新庁舎整備シンポジウム」が開催され、株式会社久米設計常務執行役員の林年男さんは「庁舎整備から見えてくるまちのメッセージ」と題して基調講演を行い、その中では、墨田区庁舎の地域に根ざした庁舎整備のあり方、西尾市庁舎の市民との対話を大切に市民意見を反映させていく設計プロセス手法、水戸市庁舎の市民の安心と安全を支える事業継続計画(BCP)から生活継続計画(LCP)へ繋げていく設計手法などのお話がありました。</p> <p>いずれも、市民と関係者が設計者と協働してじっくり設計に時間をかけて練り上げていくことが、時代に流されない街づくりと愛着を持って永く暮らせる街づくりの重要なポイントであるというお話が大変に印象的でした。</p> <p>このように庁舎整備に限らず、設計期間中においては、市民と関係者が協働できる場面と納得のいく時間が担保される設計手法が大切であるように思われます。</p> <p>そのことを実現していくには、与条件や諸課題に対して的確に対応できる設計能力を持つに相応しい設計者を選定することが第一義的に求められるのではないのでしょうか。</p> <p>市民や関係者の意見が十分に反映された設計を進めるために、設計者と市民・関係者がじっくりと設計に時間を費やすことができる手法を選択していくことが重要であると思います。</p> <p>PFI方式やDB方式における設計面では、意思決定の迅速化などにより経費の低減につながる一面もありますが、PFI方式は目的とする事業に収益性があることを前提とした事業手法であり、収益が見込めないような本事業には適切ではないものと思われます。</p> <p>DB方式は、例えば、その建設工法に特許を持つ施工業者でなければ設計が行えない場合、あるいは設計部門を有する施工業者が一括して請け負うことで経費を低減できる場合などには適している手法と思われます。</p> <p>本事業で想定されるような設計業者と施工業者が共同企業体を編成する、いわゆる異業種共同企業体型のDB方式では、各業者の経費は単体発注と同じですから、</p>	<p>事業手法としましては、従来の直接建設方式のほか、設計から建設、そして維持管理・運営までの一連の業務に民間の資金や技術力を活用する手法が想定されますが、本基本構想(案)において①市の意向、市民意見の反映、②財政負担の抑制、③地域経済への波及効果、④事業期間という点を考慮しながら慎重に検討を進め、建設場所において最適な事業手法を選択したいと考えております。</p> <p>いただきました御提案につきましては、今後の事業手法を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

<p>一括発注してもその優位性は少ないものと思われます。</p> <p>また、DB方式の場合、業者の特定方法はプロポーザルやコンペなど様々あるとは思いますが、異業種共同企業体を持っている設計能力と施工能力の異なる能力を同時に総合評価することには難しさがあるのではないのでしょうか。</p> <p>設計ならば設計業者間で、施工ならば施工業者間でそれぞれ同じ条件の下で平等に能力が評価され、同一業種間で競争させることが本来の事業の進め方ではないかと思えます。</p> <p>従って、設計業務は施工部門とは分離して、単独で発注できる方式を採用すべきものと考えます。</p> <p>また、設計監理においては、設計の検証を確実に実施していく上からも設計監理を単独で発注し、独立した形態により厳正にチェックしていく体制を構築していくことも大事だと思われます。</p> <p>庁舎整備における施工面に関しても、地元企業の参入が可能であり、地元への経済波及効果に優れた事業手法である直接建設方式の従来方式により、建築工事部門、空調衛生工事部門、電気工事部門に分離・分割して発注することで、各分野が責任を持った施工体制において高品質な技術を提供できることとなります。</p> <p>PFI方式は、資本力の強い企業で構成する特別目的会社が、設計・施工・管理を集中的に一括受注し、長期間にわたり独占する発注形態であり、弱い立場の地元中小企業は、直接参加し受注する機会を失い、こうした仕事量の減少により雇用の確保や経営環境が悪化し、地元経済の衰退に繋がっていくことは明らかです。果たして本当にPFI方式によって得られた利益が市民への利益に繋がっていくかは疑問のあるところです。</p> <p>過去の発注方式においても、地元経済への波及効果が高いという優位性があるからこそ、従来、採用されてきた事業手法であり、優れた事業手法であると思われる。</p> <p>以上のことから、事業手法については、設計と施工及び設計監理を分離し、各部門の独自性が存分に発揮される発注形態である、直接建設方式による従来方式を採用していただくようお願い申し上げます。</p>	
<p>2. 「案」20頁、「第8章今後の進め方、3今後の課題〇市民文化会館との役割分担」について</p> <p>市民文化会館、7条駐車場を含んだ総合的な計画案の検討をお願い申し上げます。</p> <p>案では第5章2建設場所で、「新庁舎の配置計画等によっては、建設に先立ち既存庁舎の解体や仮駐車場・仮庁舎・一時移転が必要になるといった課題がある」としながらも、「新庁舎の建設場所は、現庁舎周辺エリアとします（総合庁舎敷地及び第三庁舎敷地）」と建設場所を決定しています。</p> <p>総合庁舎敷地内には旭川市7条駐車場があり、隣接して旭川市民文化会館があります。市民文化会館からは現総合庁舎に対して熱供給を、7条駐車場に対しては熱及び電力供給等を行っており、密接な管理形態を有するブロックを形成しています。</p> <p>新庁舎の建設にあたっては、このブロック全体を含めた今後の両施設の総合的計画案を示していく必要があると思われるのでご検討をお願い申し上げます。</p>	<p>今後、基本計画の策定に当たっては、現庁舎周辺エリア全体の整備計画は重要であると認識しており、市民文化会館との役割分担などと合わせて今後、検討してまいります。</p>

12	<p>耐震性の不足と記載だが、耐震工事をするべきだ 分散化は必要なし、現状庁舎で良い、税金のムダ遣いだ!!</p> <p>狭あい化→利用していて全然狭く感じない。それより、市役所員の対応を何とかしろ!!不親切・態度悪い・笑顔なし・舌打ちされる・何を聞いても「分かりません、他の所で聞いて下さい」と言われる・場所を聞いても案内せず、あごを使って遠くを指す。非常に不快だ!!</p> <p>老朽化は、ひどい建物のみ新しくすれば良い全部変える必要なし。</p> <p>駐車場だが、少ない!!もっともっと駐車場が有っても良い。完全無料化にせよ!庁舎の中で手続きして料金取られてるのに駐車場も金取るのはおかしい!それと、病院の駐車場の料金を取るのもおかしいのでは?各々の病院駐車場の完全無料化をするべき!</p> <p>除雪の件、除雪するのは構わないが、もっとキレイに雪を取ってほしい。雪山で道路が見えなくて危く他の車とぶつかりそうになる!</p> <p>旭川の観光案内板で何故、中国語や韓国語しか訳してないのか?他国から来てる人は?来るなど言う意味か?(日本語と英語で良い)</p> <p>旭川駅の切符売場(券販売機)の横に、手話通訳のTVを付けてほしい。筆談でも良いが面倒だ!電光掲示板をもっと多く付けるべき。</p> <p>税金で新庁舎を建て替える必要がないのだから、そのお金でもっと他の事で税金を使ってもらいたい。</p>	<p>現在の庁舎は、耐震性の不足のほか、分散化、狭あい化、老朽化など多くの課題を抱えており、これらの課題解決には庁舎の建替えが適当との考えから、これまで検討を進めてまいりました。</p> <p>いただいた御意見につきましては、真摯に受け止め、今後、本事業推進に当たり御理解いただけるよう取組を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、その他いただきました駐車場などの御提案につきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>
13	<p>新庁舎建設の現状と課題が6点ありましたが、この程度の内容で新庁舎を建てる事にはなりません。</p> <p>建て替えるたの理由づけをしているだけです。</p> <p>旭川は大地震が来る可能性はかなり低いです。</p> <p>シビックセンターとかまちづくり条例とか、余所でやっていることばかりをマネしているだけです。</p> <p>もっと地域の活性や経済的効果を上げるたの施策を打ち出すことが重要です。</p> <p>庁舎にお金をかけても街は活性化しません。</p> <p>この案は廃案でお願い致します。</p>	<p>現在の庁舎は、耐震性の不足のほか、分散化、狭あい化、老朽化など多くの課題を抱えており、これらの課題解決には庁舎の建替えが適当との考えから、これまで検討を進めてまいりました。</p> <p>いただいた御意見につきましては、真摯に受け止め、今後、本事業推進に当たり御理解いただけるよう取組を進めてまいりたいと考えております。</p>
14	<p>1. 新庁舎建設の基本理念について</p> <p>(1) 庁舎は行政施行の場所であることを認識する。 基本的には行政施行に必要な面積と機能を備えていけば十分である。</p> <p>(2) 庁舎は限定されて予算の中で建設されなければならない。「華美を求めず」「豪華さを求めず」実務中心とし、市民の目線に立った「最少の利便性」が備えられていけば十分である。</p> <p>(3) 市民の利便性は最少でなければならない。最大を追求すると多大な財政負担となり、少子高齢化、人口減少が見込まれる現在、将来(子孫)に多大な負の遺産を残す事となる。</p> <p>(4) 商工会議所の入居は中止する。一般市民が赴く用件も少なく、又同居する事により政財癒着を招き、談合の温床となる危険が生じる。</p>	<p>庁舎に必要な面積につきましては、新庁舎に集約する庁舎機能の選定や、各諸室の適正配置による庁舎規模のコンパクト化を目指しさらに精査していきたいと考えております。</p> <p>また、事業費につきましては、可能な限り抑制に努めるとともに、工事を段階的に行い、財政負担や工事発注の平準化を図るなど、更なるコスト削減方を検討しながら、基本計画策定に向け取り組んでまいります。</p> <p>なお、新庁舎建設に当たりましては、単に行政窓口を集約するだけではなく、公的な役割を担う民間窓口と行政窓口が連携することで市民の利便性が向上することが期待できるものとして、旭川市社会福祉協議会や旭川商工会議所を民間窓口機能として新庁舎の必要面積に算定したところです。</p> <p>民間窓口機能につきましては、いただいた御意見を踏まえ、適切な費用負担を含め引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>

	<p>2. 最少の利便性の内容</p> <p>(1) 一階ロビーはミニイベントの出来る広さを確保する。 音楽発表会、サークル活動の発表、展示、物産展の開催等</p> <p>(2) 休憩ロビーコーナー ((1)の1階ロビーと一体でも可) 自動販売機、新聞、雑誌等を備え、小休憩し、寛げる場とする。</p> <p>(3) 身障者トイレ、授乳室を兼ねたベビー更衣室、銀行CDコーナー、売店等の設置</p> <p>(4) 4階以上に展望レストランの設置 客席は50~60人程度?市民が気軽に赴けるメニュー、料金とする。</p>	<p>御提案いただきました新庁舎の機能や配置計画に関する御意見につきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>
15	<p>最近の買物公園の人の流れは、宮下通~3条通までが中心で4条通以北は、人通りが極端に少ない状況となっている。</p> <p>新庁舎の建設は、市民が楽しく利用できる庁舎作りが最大の課題だと思います。</p> <p>次にあげる項目を新庁舎建設の参考にさせていただきたい。</p> <p>1. 新庁舎の最上階は、大雪連峰が見える展望レストランを設置する。 ◎市民が手軽に利用出来るメニュー、価格等を考慮する。 ◎営業時間はAM11:00~PM7:30とする。 ◎テーブル、椅子等は、旭川家具製品で統一する。</p> <p>2. 市民の作品展示が出来るギャラリールーム(市民の部屋)を設置する。</p> <p>3. 1階には売店を設置する。(コンビニも可)</p> <p>4. 現在、常磐公園にある中央図書館を設置する。(不可であれば、新庁舎の近くに建設する。)</p> <p>新庁舎は100年使用可能な建物と思われるので充実した市民サービス機能が発揮できること。 また全国的にも注目されるような市庁舎作りをめざして下さい。</p>	<p>本基本構想(案)では、基本理念を「市民でにぎわい、親しまれるシビックセンター」とし、市民が気軽に訪れ、集うことができる、明るく開放的な庁舎を目指しております。</p> <p>レストラン、ギャラリールーム、売店、図書館など市民が楽しく利用できる新庁舎の機能に関する御提案につきましては、今後、基本計画策定に向け参考とさせていただきます。</p>
16	<p>第2章 新庁舎の基本理念に掲げられている、「市民でにぎわい、親しまれるシビックセンター」の説明が曖昧で非常に分かりづらいつ感じます。</p> <p>市役所に新しい機能を付加することだけで、人々が気軽に訪れ、賑わいのある魅力的な庁舎となり、それ自体でシビックセンターが形成されるのでしょうか?</p> <p>旭川らしさの発信として芸術や文化、ものづくりのまち旭川を内外にアピールするシンボリックな市庁舎としての機能を整備すると表現されていますが、どこにでもある、市庁舎内に展示スペースを確保し、民芸品や農産物、家具、動物園などの紹介程度のものと考えていることしか想像できません。</p> <p>現庁舎周辺に建設地が決定した今後は、現庁舎の在り方も含めシビックセンターを、どのように形成するのか議論する必要があると考えます。</p> <p>旭川の近代史において現総合庁舎は大切な存在であり、原風景として人々の心の中に、生活の中に融け込んでおります。</p> <p>日本建築学会作品賞やDOCOMOMOの「日本におけるモ</p>	<p>シビックセンターとしてふさわしい具体的な機能や規模につきましては、今後の課題として認識しておりますことから、基本計画においてお示しできるよう検討してまいります。</p> <p>また、現総合庁舎につきましては、専門的見地から歴史的・文化的価値を有する建築物として保存を求める御意見があり、そうした価値を踏まえた上で、保存する場合の費用などを比較検討し、市民意見をお聞きしながら、その取り扱いについて総合的に判断してまいります。いただいた御意見につきましても、今後、現総合庁舎の在り方の検討を進める際の参考とさせていただきます。</p>

	<p>ダン・ムーブメントの建築 100 選」において北海道から 2 つの作品が選出され、その内の一つに旭川市総合庁舎が認定されるなど、芸術・文化を伝えていく上で重要な施設の一つと考えます。</p> <p>昨年末には二つの団体より、市長あてに保存活用にかんする要望書も提出されております。今回、耐震性が著しく低いく、その他にも、狭あい化、老朽化、駐車場不足など様々な問題から新庁舎建設の動きが加速していますが、こういう時期だからこそ、新庁舎を含め、現庁舎、分散している機能、文化会館、買物公園などを含めた、シビックセンターをどのように形成するのか議論を深めるいい機会ではないでしょうか？</p> <p>非常に疑問に思うことは、現庁舎の存在を消しながら建設地の選定を議論し、シビックセンターの意味の本質を間違った解釈で一般市民に説明していることです。</p> <p>19 日の説明会にも参加いたしました。鉄筋コンクリート造における耐久年数の説明におきましても、減価償却の基準を引き合いに説明しており、50 年を過ぎているので鉄筋コンクリート造の耐久年数が超過しているため、解体することが当然ような説明にがっかりいたしました。</p> <p>今まで、現庁舎の存在を消したまま、新庁舎の規模や位置、機能性について議論・検討してきたことに対し不信感を持たざるを得ません。</p> <p>古いものや新しいものが混在することにより地域の文化や歴史が継承され、持続可能な都市の形成にシビックセンターとしての基本理念が役立つのではないのでしょうか。</p> <p>シビックセンターの形成により、人々が街に愛着を感じつつ誇りを持ち、街全体の活性化へと波及することが望ましいと考えます。</p>	
17	<p>新庁舎の建設について反対の立場ではありませんが、現在の分散配置を今更無理に集約させる必要はないと考えます。</p> <p>新庁舎については文化会館を含めた計画とする方が西川市長の構想であるシビックセンターに近付くと思えますし、保存要望書が出された現総合庁舎を免震化して保存利活用することでそのビジョンはより明確化されると考えております。</p> <p>現総合庁舎は北海道にほんのわずかしかないモダニズム建築の秀作であり、近年は CASA-BRUTAS などの雑誌でも再評価されています。</p> <p>旭橋が旭川市民の原風景であり、旭川市の都市をイメージ付けるキャラクターであるならば、この現総合庁舎も同じであり、市民の大事な財産であります。古いし、狭いし、使いづらの理由で壊してしまえば簡単かもしれませんが、壊せば 2 度と建てることは出来ないのです。古い物があって、新しい物がある姿こそ、これから旭川市が目指すべき歴史と文化を大切にす成熟した都市であります。</p> <p>函館、小樽しかりでそのような都市には人が集まります。</p> <p>現総合庁舎は、ミュージアムや市民活動、観光客が集う施設として再生させ、賃料収入などで「稼ぐ建物」へと変身させる道は残されています。</p> <p>どうか、今後の西川市長の街づくりのビジョンを明確にするためにも、現総合庁舎を活かしたシビックセ</p>	<p>今後、基本計画の策定に当たっては、現庁舎周辺エリア全体の整備計画は重要であると認識しており、市民文化会館との役割分担などと合わせて検討してまいります。</p> <p>また、現総合庁舎の取り扱いにつきましては、その歴史的・文化的価値から保存を求める御意見があり、そうした価値を踏まえ、保存する場合の費用などを比較検討し、市民意見を踏まえながら、総合的に判断してまいります。</p>

	<p>ンター計画を取入れて頂き、今よりも歴史と文化を重んじた都市をこれからの我々の子孫に残すべく御英断いただきたく存じます。</p>	
18	<p>地区マスタープランの必要性について 新築予定の新市庁舎建設候補用地（注1）は、北彩都エリア（14、15 街区）、買物公園エリア（4~8 条間と昭和通り～緑橋通り間の 8 街区）、現市庁舎周辺エリア（①総合庁舎敷地、②第三庁舎敷地）の 3 エリアに絞り込まれ、その三択の中で現市庁舎周辺エリアと決定された。公開された建設候補地の比較表では、基礎データとして、各敷地に対する建築可能最大の延床面積と建築面積が示されている。現市庁舎周辺エリアを示す図では、永隆橋通りを挟んで、総合庁舎敷地と第三庁舎敷地の 2 敷地を示し、昨年度に耐震改修を検討した旭川市文化会館や、新耐震基準に適合した第二庁舎などの敷地は、明確に線引き除外されている。このことは、新庁舎を考えるにあたって、市民文化会館や第 2 庁舎を別に基本構想で課題とした行政機能の分散化を解決するものではない。さらに、新庁舎の基本理念として謳う「市民でにぎわい、親しまれるシビックセンター」としての機能と役割から乖離するものと言える。旭川市では、都市計画制度を持って以来約 40 年の間に、様々な街づくり関連の施策を行ってきた。特に中心市街地では、防火準防火地区指定の線引きに始まり、近年の総合計画や都市計画マスタープラン、中心市街地活性化基本計画などで、この地区を市政にとって重要な業務拠点地区として概念的な扱いをしている。しかし、今回対象となった新庁舎建設の地区周辺に関しては、具体的な地区マスタープランの類は持ち得ていない。また、今後の少子高齢化の将来を見据えてコンパクトシティー化を目指すと言いつつも、膨大に散在する青空駐車場や未利用空地の全体としての利活用方針や公共施設適正再配置計画などの検討は未着手とも聞く。少なくとも基本構想として、一旦は改修予定とした市民文化会館との関係や、市政機能の分散化を問題にしながらの第三庁舎までの「繋ぎ方」を示すべきではなかろうか。あるいは、緑橋通りを挟むとはいえ、市営住宅中央団地敷地の今後の在り方や、また、示された計画予定敷地を分断する永隆橋通りに関しても、中心市街地における交通体系の将来像を描かずに、道路ありきのままで計画条件としてしまうのは早急に思える。そもそも、開拓以来の市街地土地利用の変遷地図資料を見ると、現在の市庁舎周辺地区は、仲通りを含んだ 60 間角の市街地街区を遥かに超えた屯田区画に近い巨大な土地割りとなって、都市構造の特異点となっていたことが分かる。（注 2） 旭川市の均等格子状道路割り都市構造では、街区や地区ごとの個性や特徴が見えにくい。しかし近年、公的な性格の様々な施設と公営住宅や民間集合住宅が集積し始めた旭川駅周辺北彩都地区、建蔽率容積率共に低いとはいえ 4 条通り以南以北の性格が見え始めた買物公園を主軸とするベルト状の商業業務地区、中央図書館や道立美術館などを持つ常磐公園と市民文化会館を 7 条緑道で繋ぐ芸術文化ゾーンの 3 地区は、おぼろげながらも中心市街地における地区ごとの将来像を暗示</p>	<p>建設場所につきましては、御意見にありますとおり、これまでの経過から現庁舎周辺エリアとしては総合庁舎敷地及び第三庁舎敷地のみを線引きしてお示ししております。</p> <p>しかしながら、第二庁舎や周辺にある民間賃貸ビルなどの活用をすることで、建設費用などの財政負担を抑制することが可能である点も建設場所として優れていると評価されたところであり、現庁舎周辺エリアを建設場所とした場合、市民文化会館との役割分担について今後の課題として認識しているところです。</p> <p>今後、新庁舎の配置計画について具体的に検討を進める際には、お示しした現庁舎周辺エリアに限らず、市民文化会館や第二庁舎のほか、4 条以北の買物公園及び 7 条緑道からの繋がりを意識して取り組んでまいります。</p> <p>また、地区マスタープランの必要性についてですが、平成 28 年中に改定を予定している都市計画マスタープランや、平成 28 年度から策定を着手する立地適正化計画において地域特性を踏まえた土地利用方針を示していく考えであり、新庁舎の建設に当たっては、こうした都市計画の方針などとの整合を取りながら進めてまいります。</p>

	<p>させるようになってきた。この機にこそ、特徴を持ち始めた地区ごとと、新市庁舎の立地する地区の性格と役割を示し、その目指すべき姿としての地区マスタープランを描く必要がある。</p> <p>注1 旭川市新市庁舎建設基本構想資料編1:p6 資料4-1 建設候補地の比較表</p> <p>注2 国土交通省 国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス</p>	
19	<p>2つのことについて質問致します</p> <p>1. 必要面積について 約3万6千㎡の算定根拠は、少子化、高齢化社会、人口減少を見据えた、これからの時代にふさわしいものでしょうか？現代では業務の効率化や経費の削減の意味からも、ペーパーレス化、クラウド化が進んでいます。書類や備品類、保存文書の保管スペースの確保が困難な状況となっているとのことですが、スペースの使い方に問題はありますか？適切なデジタル化、整理整頓といった基本的なことを行うことが先ではないでしょうか。また、高齢者、小さな子供を抱えた親、平日勤務の一般市民のことを考えれば、こちらから市役所へ出向かなくてもサービスを受けられることが真の市民サービスです。真の市民サービスを提供する市役所のあり方を考えた時、新庁舎面積は最小限になります。人口減少と時代に合ったサービスを見据え、建築という箱はコンパクトにし、次世代の財政の負担を少なくすることが、市長の責務ではないでしょうか</p> <p>2. シビックセンターについて 芸術や文化、ものづくりのまちである旭川を内外に発信する機能を整備するとありますが、現庁舎は、日本建築学会作品賞を受賞し、庁舎建築のプロトタイプと言われる建築です。また、世界遺産の近代建築版とも言われる DOCOMOMO100 選に、北海道の公共建築として唯一選ばれている建物です。ものづくりのまちを掲げる旭川は、歴史的建築物を大切に使わなければなりませんし、日本のみならず、世界からも評価を受けるこの歴史的建築物こそ、観光客に対する旭川の魅力となりませんか？また、ものづくりのまちである旭川には、織田コレクションという世界的コレクションがあります。市長の公約であるデザインミュージアム構想を現庁舎の文化資産としての価値を活用する形で行えば、旭川の大きな魅力となり、観光資源となり、本物のものづくりのまちとして多くの人が集まってくるのではないのでしょうか。日本全国から、世界から人を呼び込むという思想がなければ、簡単ににぎわいを生み出すことはできないと思います。</p>	<p>必要面積算定の基礎である想定職員数につきましては、行財政改革や人口減少による業務量の減少が見込まれる一方で、少子高齢化による新たな行政需要の増加や地方分権改革による権限や業務の移譲などによる業務量の増加も見込まれ、今後の職員数については減少が想定されるものの、大幅な減少にまでは至らないと思われることから、当面は平成30年度の推計職員数のまま推移すると想定したところですが、新庁舎建設に当たりましては、将来の人口減少を見据えた取組を行ってまいります。</p> <p>また、新庁舎に集約する庁舎機能の選定や、各諸室の適正配置による庁舎規模のコンパクト化を目指しさらに精査してまいりたいと考えております。</p> <p>現総合庁舎につきましては、専門的見地から歴史的・文化的価値を有する建築物として保存を求める御意見があり、そうした価値を踏まえた上で、保存する場合の費用などを比較検討し、市民意見をお聞きしながら、その取扱いについて総合的に判断してまいります。</p> <p>また、シビックセンターとしてふさわしい具体的な機能につきましては、今後の課題として認識しておりますことから、今後、策定する基本計画においてお示しできるよう検討してまいります。</p>